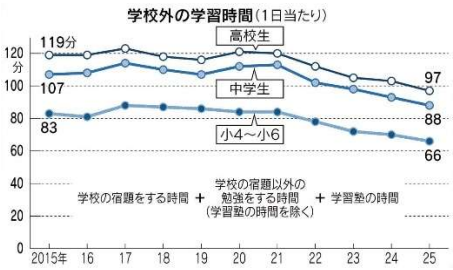
令和８年度　学舎通信
令和８年９月１５日発行
# For your SHOTO Vol.12
松濤学舎HP
公益財団法人 佐賀育英会 松濤学舎
文責　舎監　下村昌弘

## 学業も職業も生活を切り離さない　－生活が全ての基軸－

子どもの学習時間が減少の一途です。今回はそこから社会の在り方を考えてみます。

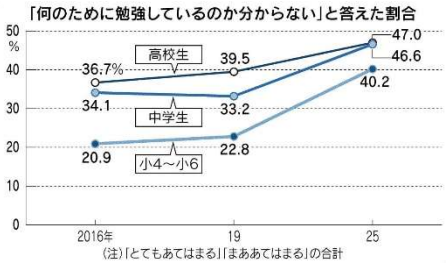
夏休みに公表された「全国学力学習状況調査」と「子どもの生活と学びに関する親子調査2025」の結果が気になりました。平日1時間以上勉強する割合がこの5年間のうちに小6は63%から50%に、中3は76%から62%に減少しました。たった１時間の勉強なのに、です。




かつて教育委員会や義務教育学校に勤務していたころから気になっていましたが、下降がトレンドであることは残念な事実です。高校生も同様で２割程度減っています。

もちろん勉強時間が長ければいいわけではありません。しかしそれは屁理屈。間違いなく量は質に転化します。逆の発想は還暦を迎えた今も私は聞いたことがありません。

加えて何のために勉強しているか分からないという小中高生は激増。学校で「探究」が重要視されているにも関わらずこれも残念な結果です。




その要因の一つはネット利用時間にあると言われています。小学生は１日平均３時間54分。中学生は５時間24分で５年間で６割増加。中２の子どもを持つ知人が夏休みは1日7時間ゲームして困っていると相談を受けました。どうしていいか俄かには私にも分かりません。

しかしその要因の大本は社会の変化にあると思うのです。大学進学の大衆化や雇用の流動化、生成AIの登場、仕事内容の変化…。VUCAという言葉はもはや古く、今はBANI。みなさん、ついて行けてますか？

V＝Volatility（変動性）
U＝Uncertainty（不確実性）
C＝Complexity（複雑性）
A＝Ambiguity（曖昧性）

Brittle（もろい）
Anxious（不安）、
Non-Linear（非線形）
Incomprehensible（不可解）

こうした言葉で危機感をあおられ、未来は大変そうだなということは分かっていても、結局、学校での勉強は昔のままで、探究に軸足を置ききれていないような気がします。それでは実社会や実生活と自分がどうかかわるのかを実感できず、勉強の意味も分からないのは当然でしょう。

大学生になって少なからず学びが実社会とつながっているのを実感している皆さんは高校時代を振り返ってどうですか。感想を聞いてみたいものです。

下村湖人は浴恩館館長時代「日本に知育の不徹底はあっても知育偏重はあり得ない。知育の不徹底はいつも知育を生活から切り離して行うからだ」と協同生活の重要性を説いています。

松濤 Boys&Girls の皆さんも協同生活の精度を上げながら実社会との結節点にある学びを感じてほしいと思います。自分・生活・社会を貫く一本の軸を据えることが大切なのです。

## いずくんぞ死を知らん　－今を生きる－

ネパールと中国の国境地帯で起きた大規模な土石流では、発生から9日目に生存者が見つ

**※HPに「寮生活のひとコマ」と「舎監室の窓から」を随時更新掲載しています。（上記QRコードからぜひ覗いてみてください。）**

かりました。ニュースで水力発電所のトンネルで巻き込まれた人がタンカで運び出される映像を見ました。その方が語る言葉には生きる息吹が感じられ人間の生命力の逞しさにびっくりしました。



https://news.yahoo.co.jp/articles/

話は変わって、私は NHK の大河をトレッドミルで走りながら見るのが一つの習慣になっています。今は『豊臣兄弟』。ある知人は「学芸会並み」と酷評しましたが、まあそれもご愛嬌と思い、歴史をたどるには好都合と思って見ています。しかし戦国ドラマには「死」はつきもので、毎回、なにがしかの合戦、切腹のシーンがあります。先日は柴田勝家と妻お市が居城から飛び降りて自決しました。本当かな。もちろん生々しいシーンは出てきませんが、なんで同じ日本人同士殺し合うのか、胸が締め付けられます。危ないよ日本刀をそんなに振り回しちゃ。自分はとても武士の世の中では生きていかれないと思います。



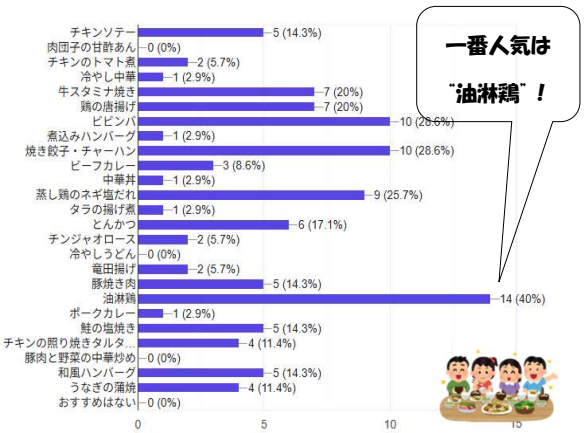

nhk.jp/g/ts/P52L88MYXY/blog/

先述のネパールの土石流から生還した方の話に戻ります。その人は「ずっとヒンドゥー教の祈りの言葉を唱えて待っていた」と語っていました。すごい。祈りがある人間は強い。

時に、東日本大震災の時、私は霞が関で仕事をしていました。15時くらいだったでしょうか、窓から見えるビル群がこんにゃくのように交互に揺れ出しました。オフィスの可動式の書架は右に左に大きく揺れ、書類は散乱。私も同僚たちも机の下にもぐり「ビルが崩落するのではないか」と一瞬「死」がよぎりました。ビルが崩落してもつぶされずに生き延びたい。そしたら誰かが助けに来てくれるはず。そういう思いで机の下にもぐり、がれきの中に埋まっても楽な態勢でいられるようスペースを確保しました。家族にメッセージを残すためにメモ帳とペンを持って。

大学時代、友人と辞世の言葉を何にしようかと話したことがあります。ゲーテは「『もっと光を』だった。恰好いいなあ。我々もなんか気の効いたことが言えるように今から考えとこうぜ」。しかしその友人曰く「『なんやったっけ～』（何を言うか考えていたけど何だったか忘れたー）になったりして」。その友人は大学教授になって今は某研究所で働いています。彼はきっと長生きするでしょう。

子路が孔子に対して「死とは何か」尋ねた時、孔子は「未だ生を知らず、いずくんぞ死を知らん」と答えました。死んでからのことを考えるよりも、今、生きている間のことを考える方が重要であるとの教えです。髪をキンキンに染めようと、禿げ上がろうと、お互い今を精一杯生きたいものですね。




| 月 | 日 | 曜 | 行事等 |
|---|---|---|---|
| 9 | 16 | 水 | 高野山オンライン説明会14時30分～（希望者） |
| 9 | 17 | 木 | 東京都による水道工事のため夜間断水（23時～翌5時） |
| 9 | 18 | 金 | 葉隠フォーラム（オンライン・希望者） |
| 9 | 24 | 木 | 防衛省市谷見学会（希望者） |
| 9 | 27 | 日 | 就職活動のための社会勉強会・全国学生寮協議会学生交流会 |
| 10 | 2 | 金 | グローバルスポーツ共生シンポジウム（希望者） |
| 10 | 4 | 日 | 前原町盆踊り大会（3日からテニスコート貸出） |
| 10 | 8 | 木 | 企業説明会（昭栄化学工業）・自治会総会 |

R8.8/17～R9.1/18に断続的に交通信号機工事（前原小学校入り口交差点）



【武蔵野の風】浴恩館の森で琵琶の弾き語り『耳なし芳一』を聴いた。主催者は浴恩館の会の中嶋直子さん。中嶋さんは70歳を越えるご高齢の方でお生まれは佐賀市。品のある魅力的な女性だ。東京の大学への進学を機に上京されたようだが当時の女子の進学率、しかも東京への進学を考えると相当な決意と覚悟が必要だったのではないか。▼『耳なし芳一』はご存じのように壇ノ浦で滅亡した「平家」への鎮魂の思いを語る琵琶法師（芳一）の物語。盲目の芳一が平家の怨霊に誘い出され、最後は耳をえぐり取られるという小泉八雲（ラフカディオハーン）による怪談。高校1年生の時英語の副読本で読んだ。▼鬼気迫る迫力の語り口に武蔵野の風と虫の音だけが聞こえる暗闇が相俟って忘れ難い一夜となった。▼佐賀の偉人下村湖人の過ごした浴恩館に一度足を運ぶことをお勧めする。（弓口）

**夏休みに母校訪問をしてくれた人、ありがとう。帰省前や帰寮後に事務室に顔出してくれた人、ありがとう。みんな元気でなによりでした。**




**※HP に「寮生活のひとコマ」と「舎監室の窓から」を随時更新掲載しています。（上記 QR コードからぜひ覗いてみてください。）**